

危険物容器性能基準

● 200ℓ 鋼製ドラム缶容器基準

試験項目	消 防 法	国 連 動 告 (U N 基 準)																								
落下試験	<p>1. 落下高さ (d:輸送物質の比重)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>危険等級</th> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>比重1.2以下</td> <td>1.8m</td> <td>1.2m</td> <td>0.8m</td> </tr> <tr> <td>比重1.2超</td> <td>d×1.5m</td> <td>d×1.0m</td> <td>d×0.67m</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 合否の判定基準 液体…内圧と外圧が平衡に達した際に洩れないこと。(クローズ) 洩れないこと。(オープン) 固体…外装容器からの洩れないこと。</p>	危険等級	I	II	III	比重1.2以下	1.8m	1.2m	0.8m	比重1.2超	d×1.5m	d×1.0m	d×0.67m	<p>1. 落下高さ (d:輸送物質の比重)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>容器等級</th> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>比重1.2以下</td> <td>1.8m</td> <td>1.2m</td> <td>0.8m</td> </tr> <tr> <td>比重1.2超</td> <td>d×1.5m</td> <td>d×1.0m</td> <td>d×0.67m</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 合否の判定基準 液体…内圧と外圧が平衡に達した際に洩れないこと。 固体…外装容器からの洩れないこと。</p>	容器等級	I	II	III	比重1.2以下	1.8m	1.2m	0.8m	比重1.2超	d×1.5m	d×1.0m	d×0.67m
危険等級	I	II	III																							
比重1.2以下	1.8m	1.2m	0.8m																							
比重1.2超	d×1.5m	d×1.0m	d×0.67m																							
容器等級	I	II	III																							
比重1.2以下	1.8m	1.2m	0.8m																							
比重1.2超	d×1.5m	d×1.0m	d×0.67m																							
気密試験	<table border="1"> <thead> <tr> <th>危険等級</th> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適用圧力</td> <td>30kPa以上</td> <td>20kPa以上</td> <td>20kPa以上</td> </tr> </tbody> </table>	危険等級	I	II	III	適用圧力	30kPa以上	20kPa以上	20kPa以上	<table border="1"> <thead> <tr> <th>容器等級</th> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適用圧力</td> <td>30kPa以上</td> <td>20kPa以上</td> <td>20kPa以上</td> </tr> </tbody> </table>	容器等級	I	II	III	適用圧力	30kPa以上	20kPa以上	20kPa以上								
危険等級	I	II	III																							
適用圧力	30kPa以上	20kPa以上	20kPa以上																							
容器等級	I	II	III																							
適用圧力	30kPa以上	20kPa以上	20kPa以上																							
水圧試験	<table border="1"> <thead> <tr> <th>危険等級</th> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適用圧力</td> <td>250 kPa</td> <td>※ 100 kPa</td> <td>※ 100 kPa</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記と下記のいずれか高い方の圧力を適用する。 55℃の収納物の蒸気圧×1.5-100kPa 合否の判定基準…5分間保持の後に洩れないこと。 (プラスチック製のものは30分間)</p>	危険等級	I	II	III	適用圧力	250 kPa	※ 100 kPa	※ 100 kPa	<table border="1"> <thead> <tr> <th>容器等級</th> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適用圧力</td> <td>250 kPa</td> <td>※ 100 kPa</td> <td>※ 100 kPa</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記と下記のいずれか高い方の圧力を適用する。 55℃の収納物の蒸気圧×1.5-100kPa又は50℃の収納物の蒸気圧×1.75-100kPa又は55℃の容器内の全ゲージ圧(収納物質の蒸気圧に空気又は他の不活性ガスの分圧を加えた値から100kPaを減じた値)×1.5 合否の判定基準…5分間保持の後に洩れないこと。 (プラスチック製のものは30分間)</p>	容器等級	I	II	III	適用圧力	250 kPa	※ 100 kPa	※ 100 kPa								
危険等級	I	II	III																							
適用圧力	250 kPa	※ 100 kPa	※ 100 kPa																							
容器等級	I	II	III																							
適用圧力	250 kPa	※ 100 kPa	※ 100 kPa																							
積み重ね試験	<p>1. 積み重ね高さ3m相当の荷重×24時間。 (プラスチック製容器のものは40℃以上の温度で28日間。)</p> <p>2. 合否の判定基準 洩れないこと。変形がないこと。</p>	<p>1. 積み重ね高さ3m相当の荷重×24時間。 (プラスチック製容器のものは40℃以上の温度で28日間。)</p> <p>2. 合否の判定基準 洩れないこと。変形がないこと。</p>																								
備 考	<p>1. 試験の適用 落下試験…全ての容器に適用。 気密試験…液体用に適用。 水圧試験…液体用に適用。 積み重ね試験…全ての容器に適用。</p> <p>※運搬容器のうち、外装容器がプラスチック容器であるもの、プラスチック内容物付きのもの又は内装容器がプラスチック容器であるものについては、-18℃以下に冷却した状態に於て落下試験を実施。</p> <p>2. 試験基準が適用されない容器 ①第4類の危険物のうち、引火点が61度以上のもの。 ②第1類、第2類又は第4類の危険物のうち危険等級1の危険物以外のものを収納する最大容積500ml以下の内装容器を最大収容重量30kg以下の外装容器に収納する運搬容器。</p>	<p>1. 試験の適用 落下試験…全ての容器に適用。 気密試験…液体用に適用。 水圧試験…液体用に適用。 積み重ね試験…全ての容器に適用。</p> <p>※プラスチックドラム及び複合容器(プラスチック製内容物のもの)にあっては、-18℃以下に冷却した状態に於て落下試験を実施。</p> <p>2. プラスチックドラム及び複合容器基準 プラスチック製外装容器及びプラスチック製内容物を用いる場合、プラスチック材質に対する影響評価試験を受ける必要がある。</p>																								